

# 多目的ボード(なべしき)

場所	クラフト室		
時間	2時間30分~3時間		
値段	料金表参照		
季節	年間	人数	クラフト室 席数 48
準備物	【利用者】新聞紙、ぞうきん、救急用品、糸ノコギリの替刃、筆記用具、黒サインペン、ティッシュペーパー 【自然の家】材料(桐の板1枚 30cm×19cm)、万力、マジカルサンダー、糸ノコギリ、小刀、ベルトサンダー、ボール盤、アクリル絵の具、筆、パレット		

## プログラムの概要・ねらい

自然の素材である板を利用して多目的ボードを作る。長方形の板からどんな形にするかを考えて、糸ノコギリを使って切り出し、片側にはアクリル絵の具で絵や模様を施す。実用性と装飾性の両面を併せ持つ作品を作ることができる。なべしき、まな板、ピザプレートなどとしての利用が可能である。

糸ノコギリやボール盤の安全な使い方を覚え、自分だけのオリジナル作品を作ること、創意工夫する喜びを体験することができる。

## ①準備

- ・クラフト室倉庫の鍵をサービスセンター受付で受け取る。窓を開け、部屋の換気を十分に行う。
- ・材料や用具を、サービスセンター受付で受け取る。その際、数量の確認を十分に行う。
- ・制作活動中は、密集・密着が生じないように気をつけさせる。

## ②実施の流れ

### 【時間】

0:00

- ・材料の配布 道具

0:10

- ・デザインを考え、鉛筆やサインペンで切り抜く線を書く。(糸ノコギリで切り抜くので、あまり複雑な形にしない方がよい。)(写真①)
- ・糸ノコギリや電動糸ノコギリを使って、切る方向に気を付けて、デザインした形に切り抜く。(写真②・③)

- ・切り抜いた木の切断面を、ベルトサンダーやマジカルサンダー(仕上げ用薄茶色)でみがく。(写真④)

※電動工具(ベルトサンダー・電動糸ノコギリ・ボール盤)を使用する際は必ず指導者が立ち会い、使い方を説明する。周囲の児童にも距離を取るよう注意を促しけがの防止に努める。

- ・ボール盤を使って、1箇所穴をあける。穴のサイズ(直径6mmの刃を使う) 穴あけと焼印の作業は、空いている時間を見て、先に行ってもよい。

1:30

- ・アクリル絵の具を使って、片側のみ着色する。

- ・着色していない面に、少年自然の家の焼印を押す。こちらが鍋を置く面になる。(写真⑤)

※焼印の取り扱いに十分注意し、やけどに気をつける。

※焼印が温まるまでに約15分かかかるので、事前に準備し、スイッチを入れておく。 作品例(キノコ) 作品例(ジンベイザメ)

2:30

- ・完成

- ・片付け
- ・終了



## ③後片付け

- ・工具等を元へ戻し、ぞうきんと備え付けの掃除用具を使い、掃除をする。※机と床の水拭きを必ず行う。(掃除の仕方についてはクラフト室の掲示を参照する)
- ・工具、部屋等の破損があった場合は、サービスセンター受付へ申し出る。
- ・クラフト室倉庫の鍵、余った材料はサービスセンター受付へ返却する。